

保証書

この製品は、厳密な品質管理及び検査を経てお届けしたものです。お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、お買いあげの販売店に必ず保証書を提示の上、修理をご依頼ください。裏面の保証規定により無償で修理いたします。

※印欄に記入のない場合には、有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。

●商品名

ソーラーバッテリー方式レーダー探知機 **GPS-371CR**

●保証期間

※ お買い上げ年月日 年 月 日から **1年間**

※
お客様

ご住所 〒

TEL() -

お名前

※
販売店

店名・住所 〒

TEL() -

※保証書は再発行しませんので大切に保管してください。



株式会社 **マルハマ**

〒232-0023 神奈川県横浜市南区白妙町4-43-4

MARUHAMA
GPS/カーロケ帯受信機
ソーラーバッテリー方式・受信機能搭載
X/K2バンド高感度レーダー探知機

GPS-371CR

取扱説明書

<保証書付>



GPS-371CRをお買い上げいただき誠にありがとうございます。

この取扱説明書は本機を正しくお使いいただくためのガイドブックです。ご使用になる前に本書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上でご使用いただきますようお願いいたします。

また、本書はいつもお手元においてその都度ご参照ください。

まず最初に充電します。

初めてご使用になるときは付属のカー電源コードを使い、10時間以上充電してからご使用ください。




目次

1. 安全についてのお願いとご注意	1
2. 製品の構成	3
3. 主な特長	4
4. 各部の名称とはたらき	5
5. 電源について	7
6. 取付方法	9
7. 使用方法	
1. レーダー受信機能	10
①初期設定	
②本体の起動	
③アラームブザー・メロディ選択	
④オートアラームカットの使用方法	
⑤オートミュート機能	
⑥ミュート機能	
⑦レーダー波を受信すると	
2. 無線受信機能	16
①取締連絡波(350.1MHz)の受信	
②カーロケーターシステム(407MHz帯)の受信	
③デジタルロケーターモード(160MHz帯)・ ポリロケーターモード(署活系)の受信	
④トラップゲートモードでの受信アラーム	
⑤デジタル受信のパスメモリ機能	
3. GPS測位機能	21
①GPS測位機能の使用	
②GPS警告動作	
③オリジナルポイントの登録	
④オリジナルポイントの消去	
⑤GPSアラームカットの設定・消去	
⑥GPS機能の解除	
⑦セキュリティモード	
8. 故障とお考えになる前に	27
9. 主な仕様	28








1. 安全についてのお願いとご注意

本製品を安全にご使用いただくには正しい操作と安全に関する注意事項をお守りいただくことが重要です。この取扱説明書の表示には安全に正しく使用し、お客様や他の人への危害と財産への損害を防ぐために様々な絵表示をしていますご使用になる前にこれらをよくお読みになり、内容を理解されてから使用してください。本書、別書に書かれていない方法での使用は絶対に避けてください。規定外のご使用により発生した人身、物損事故などについて弊社は一切の責任を負いません。

■ 絵表示の例





-  △記号は気を付ける必要があることを表しています。(警告・注意)。
-  ⊘記号はしてはいけないことを表しています(禁止)。図の中や近くの表示は禁止の内容(左図は分解禁止)を示し、一般の禁止は⊘です。
-  ●記号はしなければならないことを表しています(強制)。(左図は差し込みプラグをコンセントから抜く)。一般の表示は●です。

警告 (人身の安全のためにお守りいただくこと)


-  ■必ず助手席側に取り付けてください。
本機は運転の妨げにならないように必ず助手席側のフロントガラス付近に取り付けてください。
また、エアバックの近くに取り付けしないでください。
-  ■本機を濡らさないでください。
水につけたり、水をかけたりしないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。
-  ■車を運転中に本機を操作しないでください。
車を運転中に本機を操作することは交通事故の原因になります。運転中の操作は絶対に避け、安全運転を心がけてください。
-  ■ケースは絶対に開けないでください。
本機は精密部品を多数搭載しています。分解や改造を加えますと故障が起き、また感電の原因となります。
-  ■スピードの出しすぎにご注意ください。
本機を取り付けての走行中のスピード違反に関して、弊社は一切の責任を負いません。交通事故を避けるために安全運転を心がけてください。
-  ■発熱・発臭・発煙を検出した場合には直ちに使用を中止してください。
これらの異常を検出した場合には直ちに本機の電源を切り、使用を中止してください。(カー電源コードを使用中の場合には車のシガーライターソケットから抜いてください)そのまま使用しますと火災や感電の原因になります。修理は販売店に依頼していただき、お客様ご自身での修理は絶対に避けてください。
-  ●

⚠ 注意

(けがや本機の故障を避けるためにお守りいただくこと)

-  ■ 衝撃や強い振動を加えないでください。
衝撃や強い振動を与えすと精密部品が壊れ、故障の原因になります。
-  ■ 動作範囲内の温度条件下でご使用ください。
本機は-10℃～+60℃の範囲で動作します。この範囲外でご使用になりますと故障の原因になります。
-  ■ 高温時の取り扱いにご注意ください。
本体に長時間直射日光が当たりますとかなり高温になりますので、本機に触れる際には十分ご注意ください。
-  ■ ケースが汚れた場合には、柔らかい布またはティッシュペーパーで拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・化学雑巾などを使用しますとケースが変形するおそれがあります。また、お手入れの際には必ず本機の電源を切り、カー電源コードを使用中の場合は、車のシガーライターソケットから抜いてください。

機能上の制約

-  ■ 日本国内で使用してください。
本機の仕様は日本国内となっています。外国では電波方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
- マイクロ波以外を使用したスピード取締機からの電波は受信しません。
本機はマイクロ波を使用したレーダー方式に対応した探知機です。赤外線式、光電管式、ワイヤ式などのスピード取締機には対応していません。
- 周囲の環境により電波が受信しにくい場合があります。
前方に走行中の車（特に大型車）がいる場合やカーブ・坂道などでは電波の探知距離が短くなる場合があります。スピードの出やすくなる下り坂などでは特に注意してください。また、金属コーティングなどの断熱ガラスを使用している車も受信しにくい場合があります。
- 取締レーダー波以外の電波を受信することがあります。
取締レーダー波以外にも同じ種類の周波数を使用しているドップラー式自動ドア及び車両通過計測器、港湾・航空レーダー、その他電子機器等に対して反応する場合がありますが故障ではありません。

2. 製品の構成

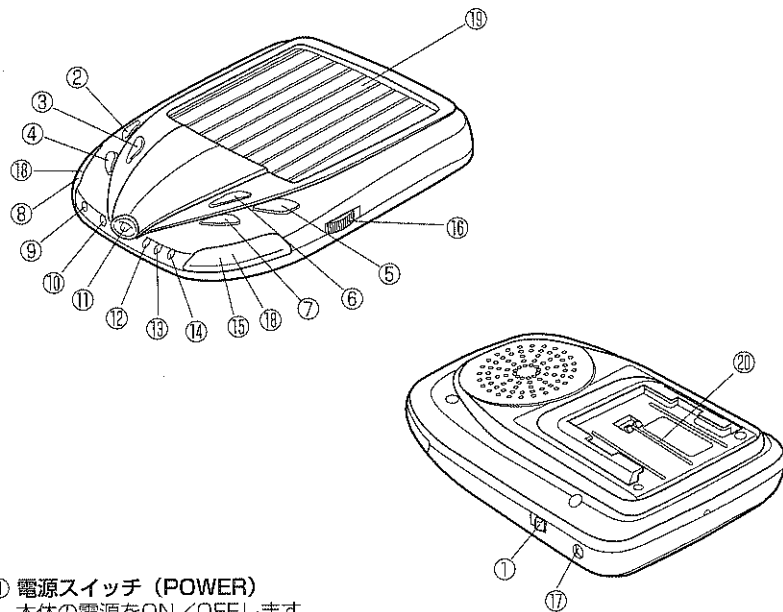
お買い上げいただいた GPS-371CR は次の品目から構成されています。

- 本機.....1台
- 取付ステー.....1セット
- 両面テープ.....1枚
- カー電源コード.....1本
- 取扱説明書兼保証書（本書）.....1冊

3. 主な特長

- **日本国内オービス位置をメモリ**
メモリしてあるオービス位置に近づくとGPS電波による自車位置測定により音声で警告します。
- **太陽電池搭載**
本機は太陽電池からニッケル水素電池に充電しますので電源コード無しで使用できます。
- **X/Kの2バンド対応**
XバンドだけでなくKバンドにも対応。全てのレーダー式スピード取締機に対応します。
- **デジタルロケーターシステム電波（160MHz帯）が受信可能**
160MHz帯の警察無線が受信できます（音声でお知らせ）。
- **ポリロケーターシステム電波（UHF帯署活系）が受信可能**
UHF帯の警察署活系デジタル無線が受信できます（音声でお知らせ）。
※署活系無線については外部電源使用時のみ受信できます。
- **トラップゲートモード搭載**
全てのランプの点滅と専用アラームで取締り（検問等）の可能性が高いことをお知らせすることができます。
- **速度取締現場の連絡無線が受信可能**
取締現場で測定係と停止係が交わす無線を受信して受信音と音声でお知らせします。
- **カーロケーターシステム電波が受信可能**
緊急車両に搭載されている自車位置測定情報の電波をキャッチすることにより、いち早く緊急車両に進路を譲り安全な走行ができます。（音声でお知らせ）
ただし、一部地域や車両にこのシステムが導入されていない場合があります。
- **カーロケーターシステム電波・デジタル無線発信車両の接近離反をお知らせ**
発信車両の接近・離反を判断し、音声でお知らせします。
- **エクセレントカーロケーターシステム電波が受信可能**
カーロケーター、デジタルロケーター、ポリロケーターのトリプル受信で緊急車両の接近検知度がさらに向上。
- **ステルス/新Hシステム対応**
新開発のハイゲイン・ホーンアンテナとD.D.C.回路によりクイックレスポンスを実現。微弱な新Hシステムやステルス波に鋭く反応します。
※ステルス識別モードはステルス型スピード取締りに完全対応ではありません。
先頭を走行する場合はくれぐれもご注意ください。
- **4モード受信感度切替（レーダー受信感度）**
市街地など低速での走行時にはノーマルモードに、高速走路や自動車専用道路など高速での走行時には遠方からのレーダー波もキャッチするエクストラモードにと、走行状況によりレーダーの受信感度の切り替えができます。
- **オートアラームカット（AAC）システム搭載**
内蔵の振動センサにより停車中及び低速走行時の不要な警告音をカットします。
- **オートパワーオフ**
約3分間振動がない状況が続くと次に振動を感知するまで自動的に電源を切り、電池の消耗を防ぎます。
- **オートミュート機能**
一定時間レーダー波を受信し続けると警告音の音量が小さくなります。
- **バッテリーローアラーム**
電池が消耗すると音声でお知らせします。
- **バスメモリ機能搭載**
デジタルロケーター・ポリロケーター受信は不要なチャンネルを回避できます。

4. 各部の名称とはたらき



- ① **電源スイッチ（POWER）**
本体の電源をON/OFFします。
- ② **レーダー/モードスイッチ（RD/MODE）**
レーダー感度の設定及びGPS警告のモード設定を行います。
- ③ **350.1スイッチ（350.1）**
取締無線（350.1MHz）の受信設定を行います。
- ④ **メモ/クリアスイッチ（MEMO/CLEAR）**
GPSオリジナルポイントの設定・消去及びGPSプリセットポイントのアラーム消去を行います。
- ⑤ **デジタル/PASSスイッチ（DIGITAL/PASS）**
デジタル無線（160MHz帯/署活系）の受信設定及びバスメモリの登録を行います。
- ⑥ **407スイッチ（407）**
407（カーロケーターシステム）の受信設定を行います。
- ⑦ **スピード/ミュートスイッチ（SPEED/MUTE）**
GPSプリセットポイントの通過速度の参照、及びレーダーアラームミュート、アラームテストを行います。
- ⑧ **レーダーランプ（RAD）**
レーダー波を受信すると速い点滅をします。通常時は感度設定状態を点滅表示します。

⑨ GPS/BATTランプ (GPS/BATT)

GPSの受信状態及び電池電圧を点滅表示します。

⑩ 電源/AACランプ (POW/AAC)

AACの設定及び振動検出状態を点滅表示します。

⑪ TRAPランプ (TRAP)

検問検知判定時に他のLEDと共にフラッシングして警告します。

⑫ 350.1ランプ (350.1/LEV1)

350.1MHz受信時緑色に点滅します。通常時はデジタルランプ・407ランプと共に振動センサの感度設定状態を点滅表示します。又レーダー受信・GPS警告時にはレベルメーター表示として機能します。

⑬ デジタルランプ (DIGI/LEV2)

デジタル無線 (160MHz帯/零活系) 受信時黄色に点滅します。通常時は350.1ランプ・407ランプと共に振動センサの感度設定状態を点滅表示します。又レーダー受信・GPS警告時にはレベルメーター表示として機能します。

⑭ 407ランプ (407/LEV3)

カーロケーターシステム受信時赤色に点滅します。通常時は350.1ランプ・デジタルランプと共に振動センサの感度設定状態を点滅表示します。又レーダー受信・GPS警告時にはレベルメーター表示として機能します。

⑮ ハイウェイ/シティランプ (HI/CI)

GPS警告の対象道路 (MODE設定) を点滅表示します。

⑯ 音量調整つまみ (VOL)

警告アラーム音、音声の音量を調整します。

⑰ 電源ジャック (DC IN)

充電時などに付属のカー電源コードを挿入します。

⑱ アラームランプ

レーダー受信・GPS警告時に点滅します。

⑲ ソーラーパネル

⑳ 取付ステー装着部

5.電源について

本機はソーラーパネルにより太陽光から内蔵の充電電池に充電して使用する製品です。

1. ご使用になる前に

初めてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は電源スイッチを [OFF] にして、付属のカー電源コードで10時間以上充電してからご使用ください。

また本機を使用しながら (電源 [ON] の状態) 充電することができます。

2. 太陽電池について

●電源が入っていても充電されません。

●満充電後は全く充電されない状態で約60時間連続動作します。(受信待受時)
※受信機のON/OFFにより、連続動作時間は変化します。

●太陽電池で十分な充電ができない場合はカー電源コードをご使用ください。

ご注意

●夏季や冬季の駐車中では車内の温度が極端に高くなったり低くなったりします。
そのため電池の充電時間が変化する場合があります。

●雨天・曇天時や夜間などでは十分に充電することができません。

●ソーラーパネル全面に太陽が当たらないと十分な充電ができません。

3. バッテリーローアラーム

電池電圧が低下した場合GPS測位機能が解除されます。この場合GPS機能は使用できませんのでご注意ください。

電池電圧	GPS/BATTランプ	音 声
電圧低下	赤・緑色同時点滅	"GPSを測位できません。 充電してください"
使用不可	赤色点滅	"充電してください" 30秒ごとにお知らせ

ご注意

●電圧が低下した場合GPS機能は動作しません。

●いずれの場合でも太陽電池では十分な充電を行うことはできませんので付属のカー電源コードで充電してください。

4. オートパワーOFF機能について

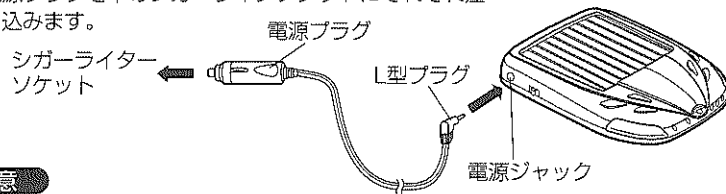
停車中や駐車中など振動の少ない状態が約3分間以上続くと自動的に動作を停止します。

※次に乗車、エンジン始動など車の振動が大きくなると動作を再開します。

5. カー電源コードで充電・使用するには

付属のカー電源コードにより外部電源(車のバッテリー)を本体に接続し、内蔵の充電電池に充電します。

- カー電源コードのL字型プラグを本体の電源ジャックに、電源プラグを車のシガーライターソケットにそれぞれ差し込みます。



ご注意

- カー電源コードを使用する場合、車のエンジンが止まっているときは充電されません。
- シガーライターソケットが汚れていると接触不良の原因になりますのでよく掃除してから取り付けてください。
- カー電源コードは必ず付属のものをご使用ください。

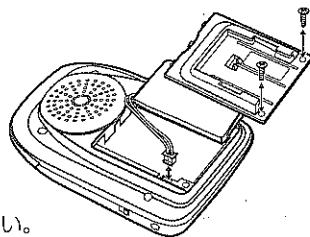
6. 電池の寿命について

本体内蔵の電池は使用状況にもよりますが約3年が寿命です。十分に充電しても充電電池のみでは長時間動作しなくなった場合は充電電池の寿命がきています。その場合は付属のカー電源コードをご使用になることで通常通り動作させることができます。

※充電電池を交換される場合は本体ごとお買い上げの販売店にお持ちになり、交換をご依頼ください。

7. 電池の交換方法

- ①ドライバーでバッテリーカバーを留めているネジを外します。
- ②バッテリーカバーを開けてバッテリーを出します。バッテリーカバーにはツメがついていますのでご注意ください。
- ③コネクタを抜きます。ラジオペンチなどを利用して引き抜いてください。コードを強く引っ張るとコードを切断するおそれがありますので絶対にコードは引っ張らないでください。
- ④新しいバッテリーを逆の手順で交換し、バッテリーカバーを閉じてください。



ご注意

- 本機は専用の電池を使用しています。安全のために専用電池以外は使用しないでください。新しいバッテリーについてはお買い上げの販売店にご相談ください。

警告

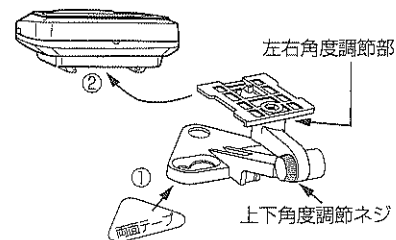
■高温時の取扱いにご注意ください。

本体に長時間直射日光が当たりますと、かなり高温になりますので、本機に触れる場合には十分にご注意ください。

6. 取付方法

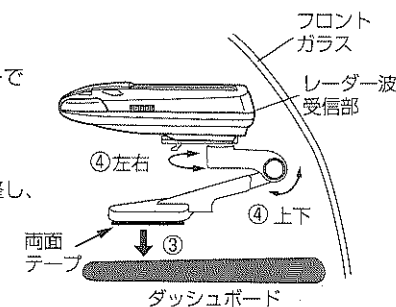
1. ダッシュボードへの取付

- ①付属の取付ステーに、同梱の両面テープの片面を貼り付けます。



- ②本機に取付ステーを取り付けます。

- ③レーダー波受信部が車の進行方向を向くように左右角度調節ネジをドライバーで固定し、ダッシュボードへ貼り付けます。



- ④本体の角度を地面と水平になるように調整し、上下角度調節ネジを締めてください。

ご注意

- レーダー波受信部の前方に金属やゴムなどの障害物がこない場所に取り付けてください。また、本体がフロントガラスに触れないようにしてください。
- 運転の妨げにならない場所に取り付けてください。
- エアバックの近くには取り付けないでください。
- 取付の際に本機が落下しないようにご注意ください。
- ソーラーパネルに太陽光が十分に当たる場所に取り付けてください。

7. 使用方法

1. レーダー受信機能

① 初期設定

本機は工場出荷時に初期設定しています。初めてお使いになる場合でも、各種設定をしなくても電源を入れるだけでご使用できます。

工場出荷時の設定

工場出荷時点では、次のように設定されています。

設定項目	設定内容	参照ページ	種別
GPS受信	ON	P21・26	GPS機能
道路種	ALLモード	P22	
AAC(オートアラームカット)	ON・40キロ	P12	共通
振動センサー	高感度	P13	
レーダー感度	エクストラ感度	P11	レーダー機能
レーダーアラーム音	ブザー	P12	
取締無線	ON	P17	無線受信機能
カーロケ無線	ON	P17	
デジタル/署活系無線	ON	P18	
セキュリティモード	OFF	P26	共通
オリジナルポイント	未登録	P24・25	GPS機能
パスメモリ	未登録	P20	無線受信機能

注意

●各種設定を変更する場合は、本書をよくお読みのうえ、必要な項目のみ変更してください。

② 本体の起動

初めてご使用になる場合、または長い間ご使用にならなかった場合は付属のカー電源コードを使用して内蔵電池に充電してください。

① 電源を入れます

- ・電源スイッチをオンにします。
- ・アラーム音が鳴り電源/AACランプ、GPS/BATTランプ、が点滅し始めます。

② GPS測位を開始します

- ・GPS測位が確定するまでGPS/BATTランプが緑色の点滅を繰り返します。
- ・GPS測位が確定すると「ポーン、GPSを測位しました」とアナウンスし、GPS/BATTランプが消灯します。
- ※GPS機能がOFFに設定されている場合ハイウェイ/シティランプは消灯しています。
- ※お買い求めいただいて初めてお使いになる場合、GPS測位が確定するまでに時間がかかる場合がありますが製品不良や故障ではありません。あらかじめご了承ください。この場合測位が確定するまでGPS/BATTランプは点滅を続けます。

③ レーダー波の受信感度を設定します

- ・レーダー/モードスイッチを押すとレーダーランプが点灯し、受信感度の設定を確認できます。スイッチを押した後、音声が出るまでに(約3秒)連続して押すことにより感度が切り替わります。設定された感度をRDランプで表示し、音声でお知らせします。

	感度	使用状況の例	RDランプ	音声
高 ↑ ↓ 低	エクストラモード	高速道路 ・自動車専用道路走行時	緑色	エクストラモードを設定しました
	ウルトラモード		赤・緑色同時	ウルトラモードを設定しました
	スーパーモード		赤色	スーパーモードを設定しました
	ノーマルモード	市街地走行時	消灯	ノーマルモードを設定しました

※レーダー波の受信感度は、通常時もレーダーランプで点滅表示します。

④ 音量を調節します

③ アラームブザー・メロディ選択

レーダー波を受信した場合のアラーム音をブザー（ピピッ音）とメロディ（メリーさんの羊・アルルの女）から選択することができます。

操作方法

① スピード/ミュートスイッチを押しながら電源スイッチをONにします

- ・操作の度にブザー・メリーさんの羊・アルルの女の順に切り替わります。
- ・メロディ選択時はメロディが1フレーズ鳴った後通常動作を開始します。

④ オートアラームカット(AAC)システムの使用方法

(1) AACのはたらき

本機に内蔵されている振動センサにより振動を検出することで停車中及び低速走行時は不要なレーダーアラーム音をカットします。

また、カー電源コードを使用し、GPS測位が機能している場合は車速に基づき動作します。

※約3分間振動のない状態が続くと自動的に動作停止状態になります。

(2) AACの使用方法

メモ/クリアスイッチを押しながら電源スイッチをONにします。

操作を行うたびにAACの機能及び設定速度が切り替わり、音声でお知らせします。

設定	音声	設定速度
ON	AACを40キロに設定しました	40km/h
	AACを50キロに設定しました	50km/h
	AACを60キロに設定しました	60km/h
OFF	AACを解除しました	—

※AACの設定速度は、カー電源コードを使用しGPS測位を行っているときのみに有効です。

※ON/OFFは動作開始時の電源/AACランプの点灯色で確認することができます。

- AAC ON : 赤色点灯
- AAC OFF : 赤・緑色同時点灯

(3) 動作確認

① AACをONにします。

電源スイッチを入れ最初に電源ランプが赤色に点灯することを確認します。赤・緑色同時点灯した場合は一旦電源を切り、“②のAACの使用方法”に基づいてAACの設定を切り替えてください。

② 車を走行させます

車を走行させて電源ランプの点滅色が赤から緑に変わることを確認してください。

※②～⑤で正常に動作しない場合は“④振動センサの感度設定について”に基づいて切り替えてください。

③ 走行速度を落とします

低速走行またはアイドリング状態で電源ランプの色が緑から赤に変わることを確認してください。

※②で車を走行させても電源ランプの色が緑に変わらないときは振動センサの感度を高く設定してください。

④ 停車します

停車してから約3分後に全てのランプが消灯し動作停止することを確認してください。

※③でアイドリング状態で電源ランプの色が赤に変わらないときは振動センサの感度を低く設定してください。

⑤ 車を走行させます

車を走行させてから数秒後に動作を開始し電源ランプが点滅することを確認してください。

(4) 振動センサの感度設定について

ご使用になる車種や取り付ける場所に応じて切り替えてください。

振動センサの感度設定によりAAC・オートパワーOFF機能が正常に動作しない場合があります。

① 350.1スイッチを押しながら電源スイッチをONにします

- ・350.1スイッチを押しながら電源スイッチを入れます。
- ・操作の度に振動センサの感度の変更され、設定に応じて対応するレベル1～レベル3ランプが約3秒間点灯します。

感度	点灯ランプ	設定目安
高 ↑ ↓ 低	350.1ランプ レベル1 (緑)	ガソリン車 (感度: 高)
	デジタルランプ レベル2 (黄)	ディーゼル車 (感度: 高) ガソリン車 (感度: 中)
	407ランプ レベル3 (赤)	ディーゼル車 (感度: 中) ガソリン車 (感度: 低)
	消灯	ディーゼル車 (感度: 低)

③ 動作を確認します

設定切替後は“③動作確認”に基づいて正常に動作するかどうか確認してください。

※振動センサの設定状態は通常時も一定間隔で点滅表示します。

ご注意

- AAC設定時、車によってはアイドリング中でも警告動作が止まらない場合があります。そのときは本機の取付場所を変更してみてください。
- 車によってはAACが正常に働かないことがあります。そのような車種ではAACをOFFにしてください。
- AACをOFFにしてもオートパワーOFF機能は動作します。
- 振動センサの感度を低く設定するとオートパワーOFF機能により動作停止状態のままになり、車を走行させても動作を再開しない場合があります。
- 振動や騒音の激しい場所などではオートパワーOFF機能が正常に動作しない場合があります。そのような状況で長時間駐車する場合は電源を切ってください。

⑤ オートミュート機能

レーダー波受信時にアラームレベルメーター全点灯の状態が約10秒間続か、レーダー波を約20秒間連続で受信すると自動的に警告音の音量が小さくなり、電池の消耗を抑えます。

⑥ ミュート機能

警告動作中に警告音が不要になったとき（レーダー波の発振源がわかっているときなど）受信中のレーダー波がなくなるまで警告音をカットします。

操作方法

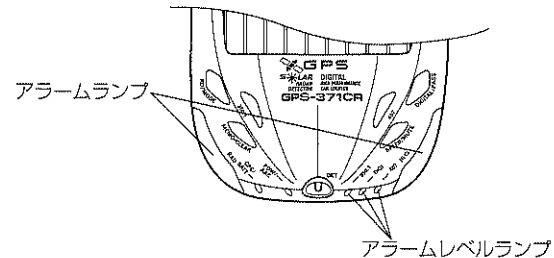
- ① 警告動作中にミュート/スピードスイッチを押します
ミュート機能が働いて警告音が止まります。
- ② ミュート機能を途中で解除するには再度ミュート/スピードスイッチを押します

⑦ レーダー波を受信すると

走行中レーダー波を受信した場合は警告音及びレーダーランプ、アラームレベルランプ（350.1ランプ/デジタルランプ/407ランプ）アラームランプによりレーダー波の受信をお知らせします。
レーダー波が強くなる（発信源に近づく）につれて警告音及びアラームレベルランプ・アラームランプの点滅速度が変化します。
また、ステルス波を受信した場合は通常とは異なる警告を行います。

	通常のレーダー波	ステルス波
アラーム音	電波が強くなるにつれて鳴る間隔が短くなります。音色 ビツ ビツ 但しメロディを選択している場合、テンポは変化しません。	ステルス専用音声・アラームで警告します。音声 "ステルスをキャッチしました"
レーダーランプ	赤・緑色同時の速い点滅表示を行います	

受信レベル	アラームレベルランプ (350.1/デジタル/407ランプ)	アラームランプ
弱 ↑ ↓ 強	消灯	低速 ↑ ↓ 高速
	緑	
	緑・黄	
	緑・黄・赤（低速）	
	緑・黄・赤（中速）	
	緑・黄・赤（高速）	



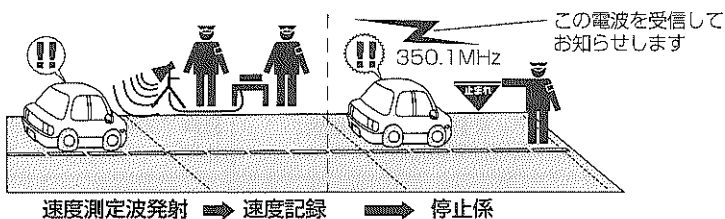
ご注意

- 本機はステルス型取締に対して完全に対応するというわけではありません。先頭を走行する際はくれぐれもご注意ください。
- 通常の電波を受信した場合でも周囲の状況などによりステルス専用アラームが鳴る場合があります。

2. 無線受信機能

本機は速度取締連絡波(350.1MHz)、カーロケータシステム(自車位置測定情報システム)電波、および警察デジタル無線(160MHz帯/署活系)を受信し、音声とランプの点滅で警告します。受信機能を使用するときは各種レシーバースイッチ(407・350.1各スイッチ及びデジタル/パススイッチ)により受信切替を行ってください。

■ 取締連絡波(350.1MHz)とは



■ トラップゲートモードとは

周囲で取締り(検問等)が行われている可能性が高いことをフラッシュと警告音でお知らせします。

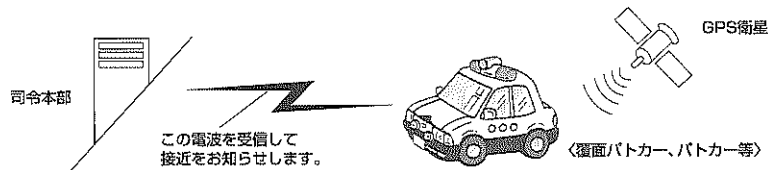
※警告音が鳴っても必ず取締り(検問等)が行われているとは限りません。

◆ ご注意

警告音が鳴らなくても取締りが行われていることも有りますのでご注意ください。

■ カーロケーターモードとは

GPSによる位置データを無線で定期的(間欠)に司令本部に送信するシステム



■ デジタルロケーターモードとは

160MHz帯の警察無線を受信できます。

■ ポリロケーターモードとは

署活系警察無線を受信できます。

※外部電源使用時のみ受信できます。

■ エクセレントカーロケーターモードとは

カーロケーター・デジタルカーロケーター・ポリロケーターのトリプル受信で緊急車両の接近検知度がさらに向上

※カーロケーター・デジタルロケーター・ポリロケーターの受信設定を全てONの状態で使用してください。

① 取締連絡波(350.1MHz)の受信

◆ 操作方法

① 電源スイッチをONにします

② 350.1/V-SENSEスイッチで受信設定を行います

350.1スイッチを押すと、設定状態を350.1ランプで確認できます。スイッチを押した後、音声が出るまでに(約3秒)、連続して押すことによりON/OFFが切り替わります。設定をランプと音声でお知らせします。

受信設定	音声	350.1ランプ
ON	取締無線を設定しました	緑色
OFF	取締無線を解除しました	消灯

※350.1ランプは、通常時は消灯します。

③ 受信待ちの状態になります。

- ・取締連絡波(350.1MHz)を受信すると350.1ランプが緑色に点滅し、受信音声を聴くことができます。
- ・受信終了後には「ピンポン、取締無線をキャッチしました。注意してください」と、音声でお知らせします。

◆ ご注意

デジタルロケーター・ポリロケーターモードはデジタル化されており通信内容を聞くことはできません。

② カーロケーターシステム(407MHz帯)の受信

◆ 操作方法

① 電源スイッチをONにします

② 407スイッチで受信設定を切り替えます

407スイッチを1度押すと設定状態を407ランプで確認することができます。スイッチを押した後、音声が出るまでに(約3秒)、連続して押すことによりON/OFFが切り替わります。設定をランプと音声でお知らせします。

受信設定	音声	407ランプ
ON	カーロケを設定しました	赤色
OFF	カーロケを解除しました	消灯

※407ランプは、通常時は消灯します。

③ 受信待ちの状態になります。

カーロケーターシステムの電波を受信すると407ランプが赤色に点滅します。また検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音 声
初回受信	—	ピンポン、カーロケをキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車両が接近しました
	↑↓	ピンポン、カーロケをキャッチしました。注意してください。
	離反判定	ピンポン、緊急車両が遠ざかりました。

ご注意

カーロケーターシステムは全ての緊急車両に搭載されているわけでもなく、また常時車輪から電波を出しているわけではありません。

このような場合は緊急車両の接近があってもお知らせすることはできません。

③ デジタルロケーターモード(160MHz帯)・ポリロケーターモード(署活系)の受信

ポリロケーターモード(署活系)を受信するときは付属のカー電源コードから外部電源を接続してください。外部電源が接続されていないとポリロケーターモード(署活系)は受信できません。

操作方法

① 電源スイッチをONにします

② デジタル/パススイッチで受信設定を行います

デジタル/パススイッチを1度押すと設定状態をデジタルランプで確認することができます。スイッチを押した後、音声が出るまでに(約3秒)、連続して押すことによりON/OFFが切り替わります。設定をランプと音声でお知らせします。

受信設定	音 声	デジタルランプ
ON	デジタル無線を設定しました	黄色
OFF	デジタル無線を解除しました	消灯

※デジタルランプは通常時は消灯します。

③ 受信待ちの状態になります。

デジタル無線(160MHz帯・署活系)を受信するとデジタルランプが黄色に点滅し、検出状況に応じて音声でお知らせします。

受信	検出状況	音 声 (160MHz帯)
初回受信	—	ピンポン、デジタル無線をキャッチしました
再受信	接近判定	ピンポン、緊急車両が接近しました
	↑↓	ピンポン、デジタル無線をキャッチしました。注意してください。
	離反判定	ピンポン、緊急車両が遠ざかりました。

※署活系を受信した場合は、ピンポンは2回繰り返します

ご注意

ポリロケーターモード(署活系)は通常カー電源コード使用時のみ受信可能です。ただし、検問の可能性があれば、自動的にスキャンを開始します。

④ トラップゲートモードでの受信アラーム

複数の警察無線を受信した場合、取締り(検問)の可能性が高いと判断し、TRAPランプを含む全てのランプがフラッシングし、専用アラーム音でお知らせします。

⑤ デジタル受信のパスメモリ機能

デジタル受信については常時受信してしまう任意のチャンネルをパスメモリ登録し、受信対象から外すことができます。これにより地域ごとに異なる常時使用チャンネルの受信を回避できますので効率的かつ実用的なデジタル無線の受信検出ができます。

操作方法

① デジタル無線を受信します

② 15秒以内にデジタル/パススイッチを1秒以上押します

先ほど受信したデジタル無線の受信チャンネルをパスメモリに登録します。全てのデジタル無線チャンネルについて登録ができます。

登録完了	パスメモリを設定しました
受信履歴無し	パスメモリを設定できません

③ 受信待ちの状態になります

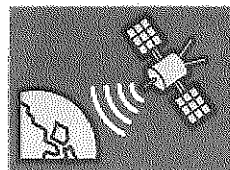
登録されたチャンネルは以後のスキャンでパスされますので受信しません。

※パスメモリに登録した受信チャンネルは一つずつクリアすることはできません。デジタル/パススイッチを押しながら電源をONにすることにより全てのパスメモリをクリアします。その際、“パスメモリを消去しました”とお知らせします。

3. GPS測位機能

GPSとは地球の衛星軌道にある24個の人工衛星からの信号を利用して位置情報を算出するシステムです。

本機ではこのシステムを利用して自転車位置を測定し、あらかじめ登録されている取締機の位置情報との照合を行います。これにより電波が発射されず従来型のレーダー探知機では警告することのできなかったループコイル式や光電管式の取締機についても警告を行うことができます。また新たに設置された取締機についてもオリジナルポイントとして30ヶ所まで登録することが可能です。



① GPS測位機能の使用

操作方法

① 電源スイッチをONにします

② GPS測位を開始します

- ・GPS/BATランプが緑色に点滅しGPSサーチ中であることが表示されます。
- ※赤・緑色同時に点滅する場合はGPS機能がOFFの設定になっているか、電池電圧が低下しています。GPS機能をONにするか(P26参照) 付属のカー電源コードで充電を行った上で再度電源を入れ直してください。

③ GPS測位の完了を待ちます

- ・GPS測位が確定するとGPS/BATTランプが消灯し、音声で測位完了をお知らせします。
- “ポーン、GPSを測位しました”

ご注意

- GPS測位を完了し、GPS/BATTランプが消灯した状態でないとGPS警告機能は動作することができません。
- 初めて使用する場合などは測位が完了するまでに時間のかかることがあります。そのような場合は遮蔽物のない場所で車を停車するなどして測位を完了させてください。

- ④ RD/モードスイッチで受信設定を行います
警告の対象とする道路種を設定します。
RD/モードスイッチを1秒以上押す度にモード設定が切り替わり、音声でお知らせします。

モード	HI/OI ランプ	警告対象	音 声
ALLモード	赤・緑色同時	全ての登録済み取締機	オールモードを設定しました
高速モード	赤色	高速道路に設置された取締機	高速モードを設定しました
一般モード	緑色	一般道に設置された取締機	一般モードを設定しました

※ハイウェイ/シティランプは通常時点滅して設定状態を表示します

ご注意

- 遮蔽物に囲まれるなど走行中にGPS測位ができなくなった場合、GPS/BATTランプが点滅し、測位できていないことをお知らせします。この場合GPS警告を行うことはできませんのでご注意ください。
再度GPS測位を完了した時点で再びGPS/BATTランプは消灯します。

- ② GPS警告動作
本製品にあらかじめ登録されている取締機（プリセットポイント）、及びオリジナルポイントに接近すると音声、及びアラームランプ・アラームレベルランプでお知らせします。

警告動作

- ① 約1km～500m手前
アラームランプ・アラームレベルランプが点滅し音声で警告します。
例) “ポーン、1キロ先の一般道路、LHシステムに注意してください。”
- ② 一定時間毎に音声で警告します
アラームランプ・アラームレベルランプが取締機との距離に応じて点滅し、音声で警告します。
例) “ポーン、LHシステムに注意してください。”
- ③ 500m～200m手前
音声で警告します。
例) “ポーン、500m先の一般道路、LHシステムに注意してください。”
- ④ 200m手前～通過まで
音声で警告を繰り返します。
“危険です... 危険です...”

- ⑤ 通過後
音声でポイント通過時の速度をお知らせします
例) “通過速度は80キロ未満です”

●通過速度の参照

通過速度は通過後にも参照することが可能です。

操作方法

- ① スピード/ミュートスイッチを1秒以上押します
- ↓
- ② 音声で最も最近に取締機を通過した時の通過速度をお知らせします
※動作開始後、通過履歴のない場合はお知らせできません。

ちょっと一言

- 距離内容は距離に応じて“1キロ以内”・“500m以内”と変わります。
- 道路種内容はポイントの設置されている道路により“一般道路”または“高速道路”となります。
- 取締機の内容はポイントにより識別し、お知らせします。
取締機の種類：LHシステム・Hシステム・ループコイル式オービス・レーダー式オービス・NHシステム・オリジナルポイント
- アラームレベルランプは距離に応じて下記のように点滅します。

距離 (m)	アラームレベルランプ	アラームランプ
1200～800	緑	低速 ↑↓ 高速
800～600	緑・黄	
600～400	緑・黄・赤 (低速)	
400～200	緑・黄・赤 (中速)	
200以内	緑・黄・赤 (高速)	

- 通過速度は60キロ未満から150キロ以上まで、10キロ刻みでお知らせします。
- オリジナルポイントについては200mに接近したことを検出した時点で警告を終了します。従ってオリジナルポイントについては通過速度のお知らせはありません。
- トンネル直後の取締機については、トンネル進入前に音声でお知らせします。
例) “ポーン、トンネル出口の一般道路、LHシステムに注意してください。”

注意

- 警告ボイスはGPSの測位状況により発生しない場合があります。
- 警告開始後、危険が回避された場合（横道にはいるなど方向変換した場合等）は警告動作を終了します。
- 警告開始後一定時間経過しても通過に至らない場合警告を終了することがあります。
- 本機ではレーダー受信よりもGPS警告を優先しますのでアラームランプ・アラームレベルランプともGPS警告中はGPS状態の優先表示となり、レーダー受信アラームも鳴りません。レーダー受信状況はレーダーランプの点滅で確認することができます。

③ オリジナルポイントの登録

本製品は新しく設置された取締機やよく取締の行われているポイントなど、任意の地点を30ヶ所までオリジナルポイントとして登録することができます。

操作方法

- 1 メモ/クリアスイッチを押します
音声で“ポーン”と鳴り、GPS測位を開始します。
・GPS測位が完了していない状態では操作することができません。
- 2 オリジナルポイントが登録されます
オリジナルポイントが登録されます。GPSの測位状況によっては最長20秒かかる場合があります。
登録完了時“オリジナルポイントを設定しました”と音声でお知らせします。
・GPS測位が完了しなかった場合、登録失敗となります。この場合“オリジナルポイントを設定できません”と音声でお知らせします。
- 3 受信待ちの状態になります
登録したポイントは次回接近時にオリジナルポイントとして警告します。

注意

- オリジナルポイントは最大30ヶ所登録可能ですが、それ以上登録する場合は登録後の接近頻度の最も少ないポイントを消去した上で新しいポイントを登録します。

④ オリジナルポイントの消去

オリジナルポイントを個別に消去するには、オリジナルポイントのGPS警告中に消去操作を行います。又、全てのオリジナルポイントを一括消去することもできます。オリジナルポイントを消去した場合再度復活させることはできませんのでご注意ください。

個別消去

- 1 オリジナルポイントのGPS警告中にメモ/クリアスイッチを1秒以上押します
- 2 オリジナルポイントのポイントデータを消去します
“オリジナルポイントを消去しました”と音声でお知らせし、オリジナルポイントが消去されます。

一括消去

- 1 メモ/クリアスイッチとスピード/ミュートスイッチを押しながら電源スイッチをONにします
- 2 オリジナルポイントの全ポイントデータを消去します
“オリジナルポイントを消去しました”と音声でお知らせし、全てのオリジナルポイントを消去します。

⑤ GPSアラームカットの設定・消去

頻繁に走行するなどしてよくわかっている取締機については、アラームカット登録を行うことで接近時の音声警告をカットすることができます。アラームカット登録を行った場合でもアラームランプ、アラームレベルランプによる警告表示は通常通り行います。

操作方法

- 1 メモ/クリアスイッチを1秒以上押します
登録済みの取締機のGPS警告中に、メモ/クリアスイッチを1秒以上押します。
- 2 アラームカット登録を行います
“設定しました”と音声でお知らせし、アラームカット登録がされます。

※アラームカット登録を解除するには、アラームカット動作中に再度メモ/クリアスイッチを1秒以上押します。操作後通常通りの音声警告が復活します。

⑥ GPS機能の解除

GPS機能を必要としない場合などにGPS機能を解除することができます。

操作方法

- ① レーダー／モードスイッチを押しながら電源スイッチをONにします
 操作の度にGPS機能のON/OFFが切り替わり、設定状態を音声でお知らせします。

設定状態	音 声
ON	GPSを設定しました
OFF	GPSを解除しました

※GPS機能を解除した場合GPS/BATTランプは赤・緑色同時の点滅となり、GPSが機能していないことを示します。又この場合、ハイウェイ／シティランプも消灯します。

⑦ セキュリティモード

駐車中、アラームランプの点滅で簡易的な威嚇動作を行うことができます。振動を検出した場合はTRAPランプも点滅して威嚇します。

操作方法

- ① 350.1スイッチと407スイッチを押しながら電源スイッチをONにします
 操作の度にセキュリティモードのON/OFFが切り替わります。設定状態は、動作開始時のTRAPランプで確認することができます。

設定状態	TRAPランプ
ON	点灯
OFF	消灯

注意

- セキュリティ動作はオートパワーOFFした場合の駐車中に行います。電源スイッチがOFFの状態では機能しません。
- セキュリティモードがONで、GPS機能をOFFにして使用している場合やGPS測位を一度も完了していない場合の駐車中は常にセキュリティ動作を行います。
- セキュリティモードがONでGPS測位が完了している場合は夜間のみセキュリティ動作を行います。

8.故障とお考えになる前に

ご使用中に異常を感じたときは故障と思われる前に下記の点をお確かめください。

症 状	原 因
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ●電池が消耗している →カー電源コードで充電してください ●オートパワーオフ機能が働いている →振動センサーの感度を高く設定してください(→P13) ●電源スイッチが [ON] になっていない
充電できない	<ul style="list-style-type: none"> ●太陽光が十分ではない →カー電源コードで充電できるか確認してください ●カー電源コード内部のヒューズが切れている →新しいヒューズと交換してください ●電池の寿命 →カー電源コードで使用してください(→P8)
受信しない (音が出ない)	<ul style="list-style-type: none"> ●電源が入っていない ●音量が小さい ●受信感度の設定がノーマルモードで電波の弱い場所にいる →レーダー受信感度をより高感度に設定してください ●AACがはたらいしている →振動センサの感度を高く設定してください(→P13) ●GPS測位が確定していない(→P21) ●取締機がマイクロ波を使用したレーダー式取締機ではない ●取締準備中または終了後などでレーダー取締機に電源が入っていない
取締以外で警告が出る	<ul style="list-style-type: none"> ●取締レーダー波と同じ周波数のマイクロ波を使用している機器の影響 ●バッテリーローアラームが鳴っている(→P7) →カー電源コードで10時間以上充電してからご使用ください
取締現場で連絡無線が受信できない	<ul style="list-style-type: none"> ●取締現場で常に無線による連絡が行われているわけではありません

9. 主な仕様

◆ GPS部

受信周波数 1.5GHz帯
オービス登録地点 約630ヶ所
ユーザー登録地点 最大30ヶ所

◆ レーダー部

受信周波数 Xバンド/Kバンド
受信方式 ダブルスーパーヘテロダイナ
受信感度 Xバンド -110dBm/エクストラモード
Kバンド -105dBm/エクストラモード

◆ レシーバー部

受信周波数 VHF帯/UHF帯
受信方式 ダブルスーパーヘテロダイナ

◆ 外観/一般

電源電圧 DC3.6V 充電電池 (本体内蔵)
DC 12V 外部電源 (充電器兼用)
動作温度範囲 -10℃~+60℃
外形寸法 76 (W) × 110 (D) × 29 (H) mm
重量 本体160g

●保証規定

- 1.保証期間内 (お買い上げ日より1年間) に正常なる使用状態において万一故障した場合には無料で修理いたします。
- 2.保証期間中に修理を依頼される場合は製品に保証書を添えてお買い上げ販売店にて修理を依頼してください。
- 3.次のような場合には保証期間内でも有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、製品に改造を加えた場合や当社指定のサービス店以外で修理された場合
(ロ)お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、公害、異常電圧、指定外の電源使用 (電圧・周波数) 及びその他天災地変などによる故障及び損傷
(ニ)保証書のご提示がない場合
(ホ)保証書の指定事項の未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
- 4.本保証書は日本国内において有効です。

■保証、アフターサービスについて

- 保証期間は お買い上げ日から一年間です。
保証書 (本書に刷り込まれています) は必ず「お買い上げ日・販売店」などの記入をお確かめのうえ販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
 - 修理を依頼されるときはまず配線の状態及び操作方法に間違いがないかどうかよく調べていただき、それでも異常のある時は修理依頼してください。
- 保証期間中は：保証書を添えてお買い求めの販売店までご持参願います。保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 保証期間が過ぎているときは：お買い求めの販売店にご相談ください。修理により製品機能が維持できる場合はご希望により有料で修理させていただきます。
- あらかじめ承知いただきたいこと…
修理のとき一部代替品を使わせていただくことや修理に変わって同等品と交換させていただくことがあります。また出張による修理や取り外し、取り付けは一切いたしませんのであらかじめご了承ください。

●商品についてのお問い合わせは…

マルハマサービス フリーダイヤル 0120(08)1114
携帯電話よりおかけの方は TEL. 045(251)2687